

上原輝男先生の経歴と研究の歩み — 略年譜 —

| | |
|-------------|--|
| 昭和二年十月三日 | 丹波篠山に、父徳太郎、母健の長男として誕生 |
| 昭和七年四月 | 篠山町立幼稚園入園（二年保育） |
| 昭和九年四月 | 篠山町立篠山尋常高等小学校尋常科入学 |
| 昭和十五年三月 | 同小学校尋常科卒業 |
| 昭和二十年四月 | 兵庫県立鳳鳴中学校入学 |
| 昭和二十年三月 | 同中学校卒業 |
| 昭和二十四年四月 | 広島高等師範学校文科入学（卒業時は国語科） |
| 昭和二十四年八月 | 広島駅頭にて被爆 |
| 昭和二十四年四月 | 坂本学園興國高等学校教諭 |
| 昭和二十五年四月 | 早稲田大学文学部芸術学科聴講生（郡司正勝先生に師事） |
| 昭和二十六年四月 | 東京都立桜水商業高等学校教諭 |
| 昭和二十六年五月 | 東京高等師範学校研究科国語専攻入学「近松道行の研究」 |
| 昭和二十七年四月 | 玉川学園高等部教諭 |
| 昭和二十九年四月 | 國學院大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程入学 |
| | この間、折口信夫、西角井正慶、守随憲治三博士の指導により道行に関する美学的構造の研究 |
| | 同大学同大学院同研究科同専攻博士課程入学 |
| | 昭和四十年に至るまで、地方民俗芸能調査、歌舞伎十八番等に関する芸能伝承の考察 |
| 昭和三十二年三月 | 國學院大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程終了 |
| 昭和三十六年四月 | 玉川大学文学部専任講師 |
| 昭和三十六年五月 | 同大学同学部助教 |
| 昭和四十年九月 | 『国語教材研究』（玉川大学通信教育部）著 |
| | 『英才教育研究所』設立に参加（英才児のためのカリキュラム作成） |
| 昭和四十一年 | 日本テレビ映画「明治天皇」脚本（潤色）執筆 |
| 昭和四十二年十月 | 成蹊大学文学部非常勤講師 |
| 昭和四十三年四月 | 児童の言語生態研究会発足。同会主宰 |
| 昭和四十三年五月 | 雑誌『児童の言語生態研究』発刊 |
| 昭和四十四年七月 | 『小学校の国語かくあるべき』（学芸図書）著 |
| 昭和四十四年四月 | 玉川大学文学部教授 |
| 昭和四十五年十月 | 聖徳学園小学校の英才児学級開設時のカリキュラム委員委嘱 |
| 昭和四十七年四月 | 肺癌手術（稲田登戸病院） |
| | 『藝談の研究 — 心意傳承考 —』（早稲田大学出版部）著 |
| 昭和四十九年二月 | 『小学校国語研究序説』（学芸図書）著 |
| 昭和四十九年四月 | 國學院大学非常勤講師 |
| 昭和五十四年十月 | 外務省国際協力事業団委嘱、中南米（含カナダ）八ヶ国の移住者子弟の日本語調査のため三十五日間現地踏査 |
| 昭和五十六年四月 | 儀礼文化学会発足、常務理事就任 |
| 昭和五十七年五月 | 『はながナンでえー子どものことはの記録』（童心社）編著 |
| 昭和五十八年二月 | NHKラジオ「ことばの十字路」出演（四回） |
| | テレビ朝日「徹子の部屋」に出演 |
| 昭和五十八年三月 | 『感情教育論 — 子どもの言語生態研究 —』（学陽書房）著 |
| 昭和五十九年三月 | この年より三年間、国立民族学博物館を中心にした共同研究に参加（子どものイメージ担当）。「子ども文化の原像」に掲載 |
| 昭和六十二年一月 | 『子ども文化の原像』（日本放送出版協会）共著 |
| 昭和六十二年三月 | 『心意傳承の研究 芸能編』（桜楓社）著 |
| 昭和六十二年四月 | 西角井博士記念賞受賞 |
| 昭和六十二年十月 | 心意傳承研究会発足 |
| 昭和六十二年十月 | 文学博士の学位を國學院大学より授与 |
| 昭和六十二年十一月 | 『忘れ水物語 — ある被爆者の記憶 —』（限定私家版）著 |
| 昭和六十二年八月 | 上原輝男先生文学博士号取得祝賀会 |
| 昭和六十二年十月 | 警察大学校非常勤講師（剣道実技理論担当） |
| 昭和六十二年十一月 | 児童の言語生態研究会二十周年記念講演会開催（於玉川大学） |
| 昭和六十二年十二月 | 児童の言語生態研究会第十九回博報賞、文部大臣奨励賞受賞 |
| 昭和六十二年三月 | 『忘れ水物語 — ある被爆者の記憶 —』（主婦の友社）刊 |
| 昭和六十二年五月 | 『小学校国語の授業はこうする 感情・思考・構え編』（学芸図書）編著 |
| 昭和六十二年一月 | 上原輝男先生最終講義（於玉川大学）「日本人のイメージの世界 — かいまみの世界 —」 |
| 昭和六十二年三月 | 『いのちの教育を再び — 基層教育学試論集 —』（明治図書）編著 |
| 昭和六十二年五月 | 『日本人の心をほどこ かぶき十話』（オリジン社）著 |
| 昭和六十二年四月 | 早稲田大学講師 |
| 昭和六十二年四月 | 十一月（木）上原輝男先生、自宅で夜中の一時過ぎに入浴中、脳溢血で倒れ、ご逝去。享年六十八才。 |
| 昭和六十二年四月十三日 | 通夜祭及び遷霊祭（於平塚斎場） 喪主長男多摩氏 葬場祭（於平塚斎場） |